

# 富士電機時報

大正十三年四月一日

第一卷 第二號

---

内容目次 富士電機時報の發刊を祝す——三相線路網に於ける負荷變動の補償に就いて——ハルトマン會社の水力電氣貯水設備——獨逸國會議事堂に於ける弱電流設備——世界各地の時刻を指す時計——屋内給水設備——短絡廻轉子を有する 三相非同期電動機——電流指示裝置——地氣監視及び其の裝置——編輯部より

---

## 富士電機時報の發刊を祝す

由來内外政局に於て幾多の試練を経て曩の蕞爾たる我帝國は比類なき進歩を遂げ今や政治に經濟に居然として世界的地位を占むるに至れりと雖も國土生産力の劣弱は更に國民經濟能率の向上を企圖するの必要を絶対に必要とす偶々我國は自然動力として天與の水力を豊富に有するを以て茲に發電事業の發達を順致し電力應用の旺盛從て電氣機械需要の異常なる増進は確實的事實として吾人の前に展開し來り其發展の記録に於て世界に類例なき躍進を示したり特に輓近科學の進歩と電化範圍の擴張は大量生産工業、交通機關は云ふに及ばず家庭に農事に漸次其天地を開拓して將に際涯なからんとするの觀あり昨夏突如大震災より壊滅に歸せしめられたる各地方復興の爾後の實績より見れば豫期以上の回復力を示し就中電力に於て著しく特に其應用に於ては新方面拓かれんとするの狀あるは看過すべからず『富士電機時報』は今や獨逸國電氣技術を紹介せんが爲發刊せらる獨逸國電氣技術の發達は現に世界驚異の的たり此舉最も時代の希望に應ずるものと謂つべし同誌が克く其使命を完ふし以て大に我國の學界及事業界に寄與せんことを望むや切也

古河電氣工業株式會社に於て

中川末吉



\*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する  
商標または登録商標である場合があります。